



国際熱帯木材機関(ITTO)の発言内容

アジェンダ 3 (b) 国連森林戦略計画2017-2030の実施に関するポリシー・ディスカッション (仮訳・原文英語)

UNFF19

2024 年 5 月 5 日 11:00-13:00、ニューヨーク

議長、発言の機会をいただき、ありがとうございます。

政府高官の皆様、
尊敬する代表団の皆様、
ご列席の皆様、

国際熱帯木材機関(ITTO)は、この極めて重要な国連森林フォーラム(UNFF)第19回会合を開催し、私たちの議論を支える様々な関連資料を準備したUNFF事務局に感謝の意を表します。

アジェンダ3では、啓発的なプレゼンテーションに心から感謝するとともに、地球規模での持続可能な森林経営(Sustainable Forest Management: SFM)の進歩を反映した数々のインパクトのある取り組みの成果を共有した代表団を称えます。

森林火災／山火事と森林認証という2つの重要なテーマについて、国主導のイニシアティブの議論を主催したインドの称賛に値する努力に祝意を表します。ITTOの支援によって、これらのテーマ分野のベストプラクティスの交換を促進することが、国連森林戦略計画2017-2030 (United Nations Strategic Plan for Forests: UNSPF)に概説されている世界森林目標(Global Forest Goals)の推進を目指すグローバルな取り組みを強化するのに役立つことが明確になりました。

議長、

熱帯諸国における山火事の影響を緩和するためには、地域的にも世界的にも、協力と行動の強化が急務であることを強調する必要があります。この努力のためには、知識の交換や統合景観火災管理のための強固な戦略の開発など、効果的な能力構築が不可欠です。

前述に関連して、ITTOが1980年代から熱帯林の森林火災がもたらす課題に積極的に取り組んできたことを、本フォーラムに参加する皆様にお伝えしたいと思います。ITTOは、生産加盟国が火災管理能力を強化し、世界的規模での協力的な取り組みに参加するよう支援してきました。

最近の火災能力強化の取り組みとしては、インドネシアの環境林業省との提携による「インドネシアにおける森林・土地火災管理の能力強化」や、ペルー国立森林野生動物局 (National Forest and Wildlife Service: SERFOR) との提携による「ペルーの熱帯林および植林地における森林火災予防と対応」といった重要なプロジェクトが挙げられます。これらのプロジェクトはいずれも、日本の緊急支援プログラムを通じて120万米ドルの資金援助を受けたものであり、ここに日本政府への感謝の意を表します。

これらの取り組みは、過去30年の間に得られた貴重な知見を強調しています。ITTOは引き続き、加盟国全体の火災管理能力向上のために優先的に投資し、継続的な支援を実施することを約束します。森林に関する協調パートナーシップ (Collaborative Partnership on Forests: CPF) の森林火災管理に関する共同イニシアティブは、まさにITTOの提案によるものです。私たちは、尊敬すべき米国代表からいくつかの要望を受けていますが、それらはCPFメンバー内で議論されると確信しています。

議長、

森林認証と合法性保証は、SFMの実践を促進するというITTOのコミットメントが反映されたツールであり、環境、社会、経済的利益のバランスを確保します。ITTOは、森林認証制度に関する能力構築プロジェクトや政策協議への幅広い支援を通じて、SFMのための基準と指標に関する先駆的な取り組みと連携した、熱帯における責任ある林業の実践を推進し続けています。

この点において、ITTOの長年にわたる活動、そして最近のITTOの合法的かつ持続可能なサプライチェーン (Legal and Sustainable Supply Chains: LSSC) プログラムが、違法伐採との闘い、追跡とトレーサビリティの促進、そして多くのパートナーとの協力によるSFMの実践の推進において、極めて重要な役割を果たしています。ITTOのLSSCプログラムは、アジア太平洋経済協力会議 (APEC) の違法伐採と関連貿易に関する専門家グループ (Expert Group on Illegal Logging and Associated Trade: EGILAT)、CPFの共同イニシアティブである持続可能な世界のための持続可能な木材 (Sustainable Wood for a Sustainable World: SW4SW) などの取り組みと協力することで、木材取引の透明性、説明責任、合法性を促進するパートナーシップを大幅に強化してきました。

9月、ITTOとパートナー組織、および、主要な利害関係者は、2回目のグローバル・リーガル & サステイナブル・ティンバー・フォーラム (Global Legal & Sustainable Timber Forum: GLSTF) をマカオで開催し、木材業界の関係者間のネットワーキング、連携、ビジネス交流をさらに促し、SFMの実践を強化し、合法的で持続可能な木材製品サプライチェーンを促進し、木材製品の透明で持続可能な取引を円滑にすることを目指します。

議長、

ITTOは今回のUNFF会期中、2つのサイドイベントを主催します。最初のイベントは森林火災に関するもので、このセッションの直後に会議室4で開催されます。2つ目のイベントは、合法で持続可能な

サプライチェーンに関するもので、明日火曜日、同じく会議室4で実施されます。この2つのランチョン・セッションへの、ご列席の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

議長、

ITTOが厳格な審査プロセスを経て、2024年3月に緑の気候基金（Green Climate Fund: GCF）の認証機関として認定されたことを、お知らせいたします。GCFとその審査パネルの徹底的な審査に感謝の意を表します。ITTOは、3つの熱帯地域における加盟国の優先課題に取り組むため、GCFとの協力を熱望しています。

ITTOが5年前から強調していた木材の安全性確保の必要性に関するオーストラリアのコメントを聞いて、嬉しく思います。ITTOは、熱帯林と木材製品の持続可能な経営と利用を促進する広範な使命を持つ政府間組織として、各国、UNFF、CPF、その他の国際、地域、国内組織と協力してSFMを世界的に推進し、SDGs達成に向けてUNSPFや世界森林目標の実施を支援するという強いコミットメントを抱いています。

ご清聴ありがとうございました。